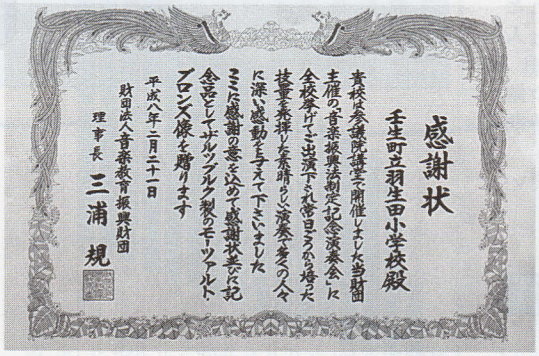
No.442

広報 みぶ

8年 3月

堂々とすばらしい演奏を披露する羽生田小の児童たち



感謝状

壬生町立羽生田小学校殿

貴校は参議院講堂で開催されました財団主催の「音楽振興法制定記念演奏会」に全校挙げてご出演下され常日ごろから培った技量を発揮して素晴らしい演奏で多くの人々に深い感動を与えて下さいました

ここに感謝の意を込めて感謝状並びに記念品としてブルックブルク製のモーツァルトブロンズ像を贈ります

平成八年二月二十一日

財団法人音楽教育振興財団

理事長 三浦 規

国会に響く大合奏

2月21日、国会議事堂参議院講堂に羽生田小学校（大出常三郎校長）全児童（98人）の澄んだ調べが響きわたりました。

これは、音楽振興法制定を記念して、音楽教育振興財団の主催により行われたもので、国会内で小学生の演奏会は初めてのことです。（同校は、1994年度音楽教育振興賞を受賞しています）

当日は、1年間練習に取り組んできた「歌劇タンホイザー大行進曲」を緊張にもめげず堂々と演奏、すばらしい合奏に衆参両議長ほか多数の国会議員の先生方から盛んな拍手がおくられていました。

発行　壬生町役場　編集 総務部企画財政課　毎月15日発行　〒321-02 栃木県下都賀郡壬生町通町12番22号　☎0282-82-1234

お年寄りの健康のために

老人保健制度

老人保健制度は、お年寄りの疾病の予防から治療、機能訓練に至る総合的な保健事業を推進するとともに、老人医療費を国民みんなで公平に負担することを目的として行われています。

壬生町でも老人保健制度に基づいて、健康診査、健康相談や各種健康教室、リハビリ、訪問指導などさまざまな事業を実施しています。

今回は、その一つである老人医療費制度について、ご紹介します。

老人医療費制度

国民健康保険や職場の健康保険（健康保険組合、共済組合など）に加入している人が、70歳（一定の障害のある人は65歳）になると、老人保健でお医者さんにかかることになります。

これは、加入している健康保険を抜けるのではなく、本人の窓口で支払う医療費を軽減し、保険組合などのほか、国・県・町も医療費を負担することで、高齢者に安心して治療を受けていただこうとするものです。

医療費のしくみ

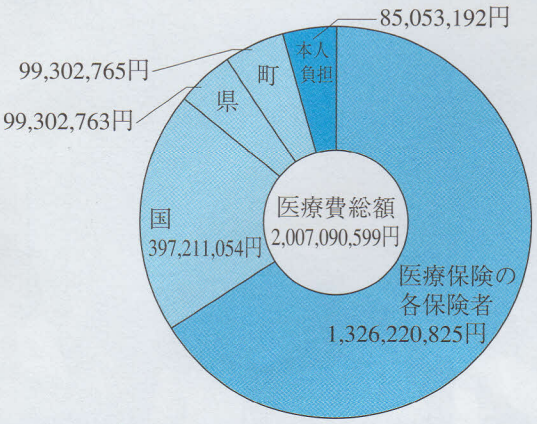
平成６年度の壬生町の老人医療費の負担額は、下表①のとおりです。

医療費の負担の割合は、主に、医療保険の各保険者（加入している健康保険）が70％、国が20％、県及び町が５％となっています。

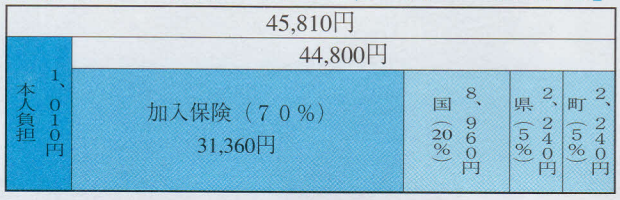
例えば、１カ月に外来で４５,８１０円かかったとします。本人は、月初めの診療日に、１,０１０円を医療機関の窓口で支払います。残りの４４,８００円の内、加入保険が３１,３６０円、国が８,９６０円、県が２,２４０円、町が２,２４０円を負担します。（表②）

（注）保険者、国、県、町の負担割合は、療養費の種類で違います。

表①「平成６年度壬生町の老人医療費の負担額」



表②「例：１ヵ月に外来で45,810円かかった場合」



医療費を有効に使うために

国民医療費は毎年増え続け、医療保険財政は、赤字に変化するという深刻な事態になっています。なかでも、老人医療費は急増しており、皆さんが支払う保険料の負担も一層重くなってきています。

医療費増加の理由として、

①人口の高齢化
②医療技術の高度化
③治療期間の長い成人病の増加
④医療費の改定

などがあげられます。

このように医療費が増えるのは、国民の健康水準の向上といえますが、その医療費が有効に使われるかどうかは、一人ひとりの心がけ次第です。

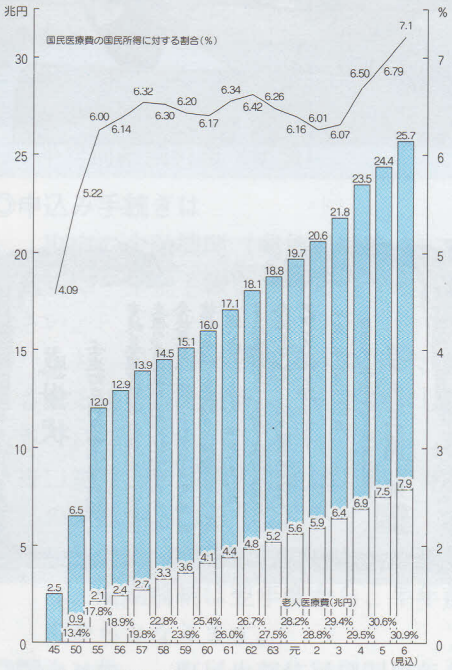
適度な運動、バランスのとれた食事など、日ごろからの健康づくりはもちろんですが、健康診断を積極的に受けて早期発見・早期治療につとめましょう。

上手に医療を受けて、大切なみんなの医療費を有効に使い、より一層健康で楽しく豊かな毎日を過ごしましょう。

表③壬生町の老人医療費の状況（一部負担金を含む）

	総医療費	一人当たりの医療費
平成３年度	1,467,360,231円	507,737円
平成４年度	1,654,695,639円	546,284円
平成５年度	1,797,140,782円	566,029円
平成６年度	2,007,090,599円	602,187円

国民医療費の推移



（注１）昭和58年１月以前の老人医療費は、旧老人医療費支給制度の対象者に係わるものであり、この前後年は単純に比較できない。
（注２）老人医療費の下の％は老人医療費の国民医療費に対する割合である。

受診するときは健康保険証と医療受給者証が必要です

老人保健による医療を受けるときには、健康保険証とその資格を証明する『医療受給者証』が必要となります。白いカードで健康保険証とは違います。

◆新たに70歳になる方は

70歳（一定の障害のある方は65歳）を迎える誕生月の下旬になると、役場から通知が送られます。

その通知と印鑑・健康保険証を持って、指定された役場又は出張所へ行き、『健康手帳』、『医療受給者証』の交付を受けてください。

誕生日の翌月1日から使用できます。ただし、1日生まれの方は、その月からとなります。

◆町外から引っ越してきた方は

老人医療は、各市町村で行っていますので、新たに届け出をしていただきます。

◆住所や加入保険が変わる方は

健康手帳・医療受給者証・印鑑・健康保険証などを持って、速やかに役場に届けましょう。

◆医療受給者証をなくした方は

再交付します。印鑑・健康保険証をもって役場又は各出張所で申請してください。

◆医療受給者証の有効期限は

医療受給者証の交付を受けてから「5回目の6月30日まで」が有効期限です。期間満了の間際に役場から通知を送りますので、印鑑・健康保険証・健康手帳・医療受給者証を持って更新の手続きをしてください。新しい健康手帳及び医療受給者証と交換いたします。

生まれた年月によって、更新の年が違います。ご家族やご近所の方と更新時期が違う場合がありますので、注意してください。

◆交通事故にあったら

原則として、加害者が医療費を支払います。

しかし、やむを得ない事情などにより老人医療で治療を受けたいときは、必ず町民生部福祉課に連絡してください。

その際、第三者行為傷病届、事故証明書、誓約書、その他指定する書類等を提出していただくことになります。

◆申請で費用の一部が戻る場合

コルセットなどの補装具代や基準看護でない病院での付き添い看護料などが、医師が必要と認めた場合に限り、費用の一部が払い戻される場合があります。医師の診断書または意見書・領収書・その他証明書等を添付して申請しますと、審査のうえ、支給決定されます。

特に、看護料などは町指定の用紙に医師の証明が必要ですので、事前にご相談ください。

◆入院時食事療養費の負担額が減額されます

平成6年10月1日より、入院時の食事に要する費用の一部を負担していただくことになりましたが、町民税非課税世帯については、その額が次のとおり減額されます。

◎入院時食事療養費の自己負担額

一般受給者		1日・600円
町民税非課税世帯	90日までの入院	1日・450円
	90日をこえる入院	1日・300円
町民税非課税世帯で老齢福祉年金を受けている人		1日・200円

該当する方は、申請してください。

◆パンフレットを配布

新規申請や更新申請したときに、各種申請の仕方や健康管理情報などがわかりやすく載っているパンフレットを配布しています。必ず、お読みください。

◆医療費を通知

毎年7月～11月に、医療費の通知をしています。これは、老人医療で受診した医療費についてお知らせするものです。

なお、事務の処理上、診療した月から2～3カ月遅れとなりますので、ご理解ください。

本人負担額が変わります

お医者さんの窓口で支払う一部負担金が、平成8年4月1日から次のように変更になります。

《外来》1カ月につき
・現在　1、010円 ⇐ 1、020円
・4月1日から

《入院》1日につき
・現在　700円 ⇐ 710円
・4月1日から

（平成9年4月1日以降については、消費者物価の変動率に応じて一部負担金が変わります。）

◎問合せ先
町民生部福祉課医療福祉係 ☎82―1234 内線125

各種県大会以上成績優秀者

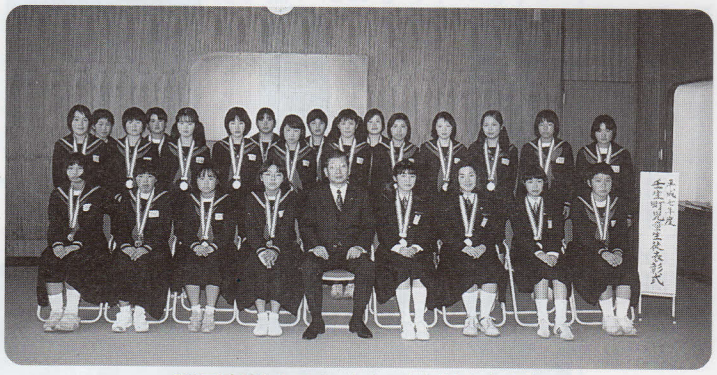
3団体並びに39名を町長表彰

平成7年度にスポーツや文化活動で県1位以上の成績をおさめた児童・生徒をたたえる町長表彰式が2月28日、役場正庁で行われました。

これは、平成7年度中に県レベル以上の各種大会において、優秀な成績をおさめ表彰された小・中学生に対し、その成績とともに日ごろの努力をたたえ、今後、さらに活躍していただこうと表彰しているものです。

表彰された児童・生徒は次のとおりです。（2月16日現在）

町長表彰のみなさん（小学生）



町長表彰のみなさん（中学生女子）

町長表彰のみなさん（中学生男子）

団体

◆第4回音楽教育振興賞並びに県教育委員会各種大会優勝者等表彰

・羽生田小学校全児童

◆第23回関東中学校ソフトボール大会県予選会優勝

・壬生中学校（18名）

3年　日永奈津美、鈴木智子
福田加奈子、大嶋真由美
尾川好美、阿部美雪
大田原　恵、戸崎幸代
山川範子、斎藤亜弥

2年　阿久津幸恵、金山陽子
高久敬子、高山真季
石島麻紀、小平絵美
安野朋美、稲葉美香

◆第8回栃木県バレーボール協会長杯争奪中学校バレーボール大会優勝

・壬生中学校（12名）

2年　黒子健太、荒川量平
大山　剛、上田　卓
早乙女恭彦、篠原孝明
茂木貴之、森　弘樹
神永伸芳、琴寄重雄
福田紀行、吉田　睦

個人

栃木県スポーツ関係優秀選手賞

◆優良生徒

◇陸　上

・壬生中学校3年　鈴木崇史

◇バスケット

・壬生中学校3年　大出知恵

◇ソフトテニス

・南犬飼中学校3年　青木公良

◇ハンドボール

・南犬飼中学校3年　中島奈々子

◆有望選手

◇野　球

・南犬飼中学校3年　坪山智昭
・〃　〃　田中正敏

栃木県以上各種大会優秀成績者（学校別）

壬生小学校

●第11回栃木県民スポーツ大会400mリレー1位

6年　松井友香
6年　長谷川美香

●平成7年度第12回全日本少年レスリング選手権大会（5、6年女子の部）54kg級優勝　6年　疋田綾子

●第28回下野教育書道展

金賞　2年　甫坂実香
金賞　6年　小出　恵
金賞　6年　鈴木久美子

●第19回「てのひら文庫賞」読書感想文全国コンクール

優秀賞　3年　佐藤忠郎
優秀賞　6年　大塚　悠

●第18回栃木県体験発表会小学生の部最優秀賞

6年　高村久美子

●第26回下野教育美術展

金賞　2年　安納宏明

藤井小学校

●第9回家庭教育に関する論文・作文コンクール

優秀賞　5年　篠原悠紀子

壬生東小学校

●第10回国民文化祭とちぎ95「国際おもちゃフェスティバル」文部大臣奨励賞　3年　村上真章

●第11回栃木県民スポーツ大会6年女子100m1位

6年　佐藤宏美

●第10回栃木県少年レスリング選手権大会

42kg級1位　6年　石村　匠

●平成7年度第12回全日本少年レスリング選手権大会（5、6年男子の部）
54kg級優勝　6年　鈴木康正

壬生北小学校

●第8回未来社会想像画展
金賞　2年　大垣美菜

安塚小学校

●第11回栃木県民スポーツ大会
少年男子走り幅跳び
優勝　6年　野口洋輔

●空き缶等の散乱防止と再資源化を進めるためのポスター
小学校高学年 最優秀賞
4年　大金亮平

稲葉小学校

●第26回下野教育美術展
金賞　6年　石澤　優

羽生田小学校

●下野新聞小学生読書感想文コンクール
最優秀賞　1年　篠原美保

●第49回栃木県理科研究発表会
最優秀賞
6年　篠原菜香子、清水恵美
高山聡美、高山瑠美
根津照美

壬生中学校

●第28回下野教育書道展
金賞　3年　小野洋一朗
金賞　3年　福田知都子
金賞　1年　寺内正史
金賞　1年　佐藤陽子

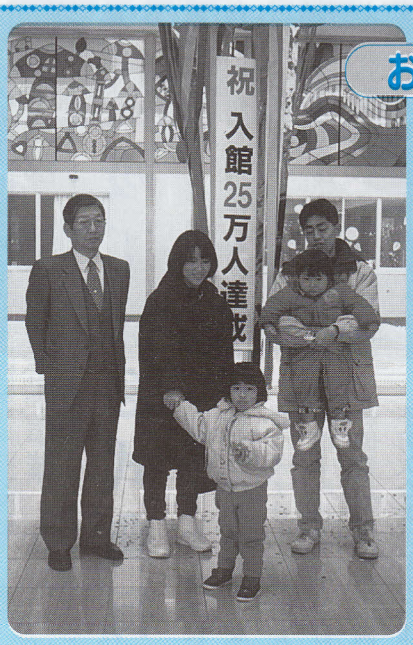
南犬飼中学校

●中学生に対する税の標語
・栃木税務署長賞
3年　関口智英
・栃木県税事務所長賞
1年　佐藤　圭

●第28回下野教育書道展
金賞　2年　芝沼　藍
金賞　3年　増山典子

おもちゃ博物館

入館者25万人を突破



めでたく25万人目となった
鈴木さんファミリー
（お父さんに抱かれているのが真ちゃん）

昨年4月23日の開館以来、大ぜいの来館者でにぎわうおもちゃ博物館の延べ入館者数が2月18日に25万人を突破しました。

めでたく25万人目となったのは、小山市南飯田の鈴木真ちゃん（1歳）で、清水町長や同館スタッフが出迎え、大きなぬいぐるみなどがプレゼントされ、祝福を受けました。

当日、真ちゃんはご両親と姉の家族4人で同館を訪れ、昨年に続いて2回目の来館だそうで、「25万人目になれてうれしいです。今日は雪でしたので前回にくらべて人が少なく、ゆっくり見学できました」と家族で喜んでいました。

各種大会優勝者等県表彰

羽生田小学校並びに個人の部で3名が受賞

平成7年度各種大会優勝者等表彰式が2月20日、宇都宮市の県公館で行われ、各種国際大会または全国大会で優秀な成績をおさめ、県の教育振興に寄与した個人および団体が県教育委員会より表彰されました。

本町で受賞された個人・団体は次のとおりです。

●学芸関係（団体の部）
・羽生田小学校（第4回音楽教育振興賞顕彰部門音楽教育振興賞）

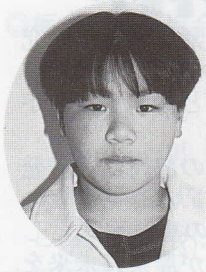
表彰状を手にする
羽生田小（大出校長）

●学芸関係（個人の部）
・壬生東小学校3年　村上真章
（第10回国民文化祭・とちぎ95「国際おもちゃフェスティバル」「手作りおもちゃ部門」文部大臣奨励賞）

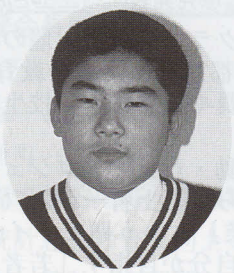
壬生東小学校3年
村上真章くん

●体育関係（個人の部）
・壬生東小学校6年　鈴木康正
（第12回全日本少年レスリング選手権大会5、6年男子の部54kg級優勝）

・壬生小学校6年　疋田綾子
（第12回全日本少年レスリング選手権大会5、6年女子の部54kg級優勝）



壬生小学校6年
疋田綾子さん



壬生東小学校6年
鈴木康正くん

壬生北部土地区画整備事業

竣工記念式典行われる

壬生町壬生北部土地区画整理組合（松本徳郎理事長）主催の宇都宮都市計画事業壬生町壬生北部土地区画整理事業竣工記念碑除幕式および記念式典が2月26日、同区域内の大師第一公園で行われ、事業関係者や区画整理組合員など約120名が出席しました。

当日は、松本理事長や清水町長などが記念碑の除幕を行ったあと、松本理事長が「この地区が宅地として有効利用ができるよう昭和63年から区画整理事業を進めてきましたが、やっと完成することができました。竣工にあたり、関係者の方々への多大なる感謝の念がつきません」とあいさつ、続いて清水町長が「町が目指している緑園都市構想には区画整理事業が不可欠な要素であります。組合員の皆さんが一致団結して行った事業を、まちづくりを通じて活かしていきたい」と祝辞を述べました。

同区画整理地区の面積は11・3ha、町の中心部から1㎞ほど北西に位置し、北側は県道宇都宮・栃木線（壬生バイパス）に面するなど、宅地として最適の条件を備えています。

記念式典であいさつする松本理事長

器具置き場と休憩所

町消防団第2分団第4部

消防器具置場が変わりました

町消防団（梁島安男団長）第2分団第4部（東原、鯉沼、福和田）消防器具置場の場所変更に伴い、新たに休憩所が完成しました。

いままでの器具置場は老朽化が激しく、また敷地等の関係で出動時などに大変危険な状況でした。そこで、壬生町農協車庫を器具置場として借用、併せて団員の待遇改善の一環として、団員が各種訓練や有事の際に出動した時、休憩や会議のできる施設として休憩所の整備を進めてきました。

町では、逐次、各部の器具置場の更新を進めて行く予定です。

道路愛護作業コンクール

藤井万年青会 本郷七福会 優秀賞を受賞

栃木県道路愛護連合会主催の平成7年度道路愛護作業コンクール表彰式が2月7日、県総合文化センターで行われ、その席上、壬生町道路愛護会の藤井万年青会（荒川政雄会長）並びに七ッ石本郷老人クラブ本郷七福会（小野口終平会長）の2団体が、花いっぱい部門で優秀賞を受賞しました。

作業内容

《藤井万年青会》

同地域内の町道53号線沿い、約400mにわたり、サルビアなどの草花を植え会員が相互に協力して、草取りなどの清掃作業を行い、草花のある道づくりを行っている。

《本郷七福会》

国道352号線の花壇約400mを清掃し、サルビアやマリーゴールドを植え付け、会員が協力してきれいな道路環境づくりを実践している。

受賞された小野口会長（右）と荒川会長

栃木県農業青年研究大会

三上哲一さん（下町）が県知事賞受賞

意見発表する三上さん

栃木県・県青少年クラブ協議会主催の栃木県農業青年研究大会が2月6日、宇都宮市の県総合教育センターで行われ、県内の青少年クラブ員や県農業大学校生徒など約250名が参加しました。

大会は、クラブ活動・意見・プロジェクトの部門で代表発表が行われ、本町からは三上哲一（のりかず）さん（下町）が意見発表の部に出場、『俺の農業』という題で、イチゴの専業農家としての自分の体験や、自分が目指す「若者たちが農業に未来を見いだせる夢のある農業」について発表し、見事最優秀賞（県知事賞）を受賞しました。

公民館まつり

講座生が活動成果を披露

町公民館の講座・学級をはじめ町公民館を拠点に活動している各種自主講座の皆さんが1年間の活動成果を発表する、第8回公民館まつりが2月24、25日の両日、「公民館講座で〝まぶしいあなたを感じたい〟」をテーマに壬生中央公民館で行われ、終日たくさんの人出でにぎわっていました。

大ホールでは歌や踊りを披露

中ホールではたくさんの力作を展示

七宝焼に挑戦（中ホール）

町歴史民俗資料館友の会
はにわ会も参加（中ホール）

お茶席でひと休み（中ホール）

ゴミの減量化に取り組む

町消費生活展

壬生町消費生活展が2月24、25日の両日、壬生中央公民館で開かれ、「みんなで考えよう　ゴミの減量化　環境問題」をテーマに、町消費者友の会が中心となり、アルミ缶、ペットボトル、牛乳パックのリサイクル運動や生ゴミの自家処理などの体験発表や実物説明の各コーナーが設けられ、たくさんの方が熱心に見学していました。

女性のつどい開かれる

壬生町女性団体連絡協議会（大橋文会長）・町教育委員会主催の第８回女性のつどいが２月17日、壬生中央公民館で開かれ、主婦の方を中心に約１５０名が参加しました。

初めに、町社会教育委員松崎宏子さん（六美町南部第二）による「今、ことばづかいは……」をテーマとした基調講演が行われ、美しい言葉は明るい社会を築くのに大切な文化であることを話されました。

続いて、「私たちのひまわり会」と題して、町ひまわり会会長吉田サク江さんと同会役員渡辺タキさんによる体験発表が行われ、ひまわり会の活動や自分の体験談などの話に、参加者たちは深く聞き入っていました。

講演のようす

老人クラブ演芸大会

自慢の出し物を披露

大ホールでは自慢の芸が披露されました

壬生町老人クラブ連合会（中村栄吉会長）主催の第18回壬生町老人クラブ演芸大会並びに第10回老人クラブ作品展示会が2月7日、壬生中央公民館で行われ、町内の48単位老人クラブが参加しました。

演芸大会会場の大ホールでは、日ごろ楽しみながら練習した民謡や舞踊など、自慢の出し物が披露され、会場いっぱいの観客から大きな拍手を受けていました。

また、作品展示会場の中ホールには、クラブ員さんの力作約80点が展示され、来館者の目を引いていました。

STOP AIDS 考えてみませんか！

お子さんの性教育・エイズ教育を

壬生町エイズ教育（性教育）推進委員会

連載を終えるにあたって

学校でのエイズ・性教育を中心に、あれこれ連載してきましたこの欄も25回目、最終回になりました。

壬生町教育委員会が文部省「エイズ教育（性教育）推進地域事業」指定を機会に始めた企画でした。

この間、それぞれの学校では全学年の児童生徒が、積極的にエイズや性について学習しました。

初めは教師も子どもも戸惑い気味でしたが、徐々にエイズについての正しい理解を身につけていきました。こわい病気とエイズをいたずらに恐れていた子どもたちも、そんなに恐れる病気でない、普段の生活ではほとんどうつらないという理解が深まってきました。また、エイズ感染者・患者への偏見差別がいかに不当なものかについても十分理解できるようになりました。

一方、保護者の方々、地域の皆さまには、家庭教育学級のエイズについての講話会やエイズ教育講演会等に多数ご参加され、エイズや性について、そして子どもたちのエイズ、性教育について積極的にお取り組みいただきました。このような、ご協力、ご支援が子どもたちのエイズ教育の充実のために大きな力になったことは言うまでもありません。

ところで、社会的には、テレビ・新聞等のマスコミで報道されているように、薬害エイズ等解決しなければならない問題もまだまだ残っています。その解決には、さまざまな立場からさまざまな努力が必要と思われます。

（写真：共同通信社提供）

平成５年より壬生町と同じようにエイズ教育推進事業の研究に取り組んだ地域は各県で１地域、全国で47地域あります。

ここでの研究成果が全国的に広まり、エイズへの正しい理解、そして患者・感染者の立場を心情的に理解しようとする気持ちの高まりや、残された問題の解決に少しでも貢献できればと期待したいものです。

エイズという病気を、特別視し差別するのではなく普通の病気と同じように考え、差別や偏見のない社会や時代を早く実現することが必要です。

それには、これからも学校で、家庭で、社会でエイズを理解して行こうとする地道な努力をする以外に道はないのではないかと考えます。

今後とも、学校教育や生涯教育（家庭教育学級など）の場を通して、計画的に、継続的にエイズ教育（性教育）の推進をしていきたいと思います。

引き続きご支援、ご協力をお願いいたします。

エイズ ミニ知識 その25

監修　栃木県伝染病予防調査協議会会長
栃木県連合学校保健会会長
松本　幸三

エイズ知識 まとめクイズ

－正しいものはどれでしょう－

①エイズに対する誤解や偏見をなくすには、みんなでエイズを正しく理解することが大切である。
②エイズは遺伝病の一つである。
③ＨＩＶに感染したことは、自覚症状がでるのですぐわかる。
④ＨＩＶに感染すれば、二次感染の可能性がある。
⑤悪いのはエイズであって、感染者ではない。
⑥ＨＩＶ感染者は同性愛者が中心になっている。
⑦ＨＩＶは血液の中にだけ存在する。
⑧セックスは健康な人間生活の重要な要素である。
⑨ピル（経口避妊薬）はエイズ予防にも効果的である。
⑩ＨＩＶは蚊によって感染する。
⑪エイズ以外の性感染症があると、ＨＩＶに感染しやすい。
⑫ＨＩＶは握手や抱擁でも感染する。
⑬ＨＩＶに感染したかを調べるのは、いつでもよい。
⑭ＨＩＶ検査は保健所で匿名で受けられる。
⑮エイズによって痴呆症になることはない。
⑯エイズは感染してから発病までが長い。
⑰コンドームはエイズ予防に有効である。

【正解】（ ① ④ ⑤ ⑧ ⑪ ⑭ ⑯ ⑰ ）

人生は、楽しく、健康に、そしてイキイキと

はかま満緒さんを迎え 健康講演会開く

壬生町・壬生町国民健康保険主催の「健康講演会」が2月6日、町保健福祉センターで開かれました。

当日は、放送作家・司会者・俳優など多方面で活躍されている、はかま満緒さんを講師に迎え、『人生は、楽しく、健康に、そしてイキイキと』をテーマに、「病は気から」といわれるように心の健康が重要である、クヨクヨしないで前向きに考え、趣味などの目的を持って生きることが大切ですと講演、大ぜいの参加者はユーモアを交えた話に熱心に聴き入っていました。

講演会のようす

からだの中の悪い鬼を追い出せ！

2月3日、町児童館主催の節分会が児童館運営委員会（高橋　毅委員長）並びに母親クラブ（北川律子会長）の協力を得て、児童館で行われ、大ぜいの子どもたちやお母さんで賑わいました。

この日は、節分のいわれの説明を聞いた後、運営委員さんなどが扮した鬼に「おねしょをなおしたい」や「おこりんぼう鬼を追い出したい」などの願いを書いた札を張り付け、勢いよく豆を撒き、からだの中の悪い鬼を追い出していました。

その後、参加者全員でゲームをしたり、お宝まきをしたりして楽しい一時を過ごしました。

統計功労で表彰うける

農業センサス、国勢調査の4調査員

神長　伸さん

左から渡辺さん、荒川さん、鈴木さん

2月14日、栃木県並びに県統計協会主催の第33回栃木県統計大会が県総合文化センターで開催され、各種統計調査に貢献された方々の表彰が行われ、本町からは、次の4名の方が受賞されました。

◎栃木県知事表彰

神長　伸（下町、農業センサス）

◎栃木県統計協会名誉会長表彰

渡辺　英雄（稲葉下馬木、国勢調査）

鈴木　理助（安塚一、国勢調査）

荒川　一男（上新町、国勢調査）

なお、商業統計調査で「壬生町」が知事表彰を受けました。

この統計大会は、統計思想の普及向上と統計関係者の志気高揚を図るため、また、統計への理解とご協力をいただくことを願い開催されています。

ゆうがお会の皆さん

車椅子を寄贈

ゆうがお会

ゆうがお会（高橋米男代表）では、2月6日に役場を訪れ、「福祉のために役立ててください」と車椅子3台を寄贈されました。

これは、同会員の方々が1円募金やペットボトル回収の報償金などを利用して購入したもので、町では、寄贈された車椅子を町社会福祉協議会で有効に活用させていただきます。

い広場

お達者カップル86

城内
松山　清さん(77)
セエさん(71)夫妻

「適度に用事があるのが健康の秘訣になっているのかもしれませんね」という松山さんご夫妻。清さんは現在、下都賀漁業組合の理事をなさっています。

清さんは昭和8年に壬生尋常高

青春スケッチ58

いろいろなことにチャレンジ

安塚三　矢内　美江(よしえ)さん

「高校から現在も続けているバレーボールのほか、スキーなどスポーツが好きですね。そのほか和太鼓にも興味があって、叩き方を教わっています」という美江さん。

「休みの日には友人とキャンプをしたり、ドライブに出掛けたりします」という彼女。「これからもいろいろなことにチャレンジしていきたい」と夢を語る意欲的なお嬢さんです。

私の作品

「ピアノ」
羽生田小学校6年
舘野知浩(ちひろ)

「おなかすいた」
羽生田小学校6年
鈴木秀行

ふれあ

男子の部優勝　壬生下馬木Aチーム

女子の部優勝　舟　町　チーム

壬生町綱引き大会

男子：壬生下馬木　女子：舟　町　チームが優勝

第９回壬生町綱引き大会が２月18日、町総合運動場体育館で行われ、町内自治会や職域などから男女９チームが参加しました。

大会は、前日からの雪の影響で出場を辞退するチームが相次ぎましたが、会場では、声援を背に受けた選手たちの力と力がぶつかり合う熱い戦いが繰り広げられていました。

大会成績は下表のとおりです。

	男子の部	女子の部
優勝	壬生下馬木A	舟町
準優勝	壬生下馬木B	壬生下馬木
三位	六美町南部第一	せせらぎ
敢闘賞	城内	至宝町北

等小学校を卒業後、東京に出て働いていましたが、同年12月に召集により満州に渡り、同地で終戦を迎え、昭和23年3月に日本へ戻りました。

そして、壬生尋常高等小学校を卒業して3年ほど和裁を学んだ後東京で働いていたセエさんと昭和24年に結婚、同年には栃木市の関電工栃木営業所に就職し、昭和54年から昭和60年まで嘱託として勤務しました。

清さんは30年ほど前から釣りを始めたそうで、「河川の水質検査など、漁業組合の仕事を兼ねて、よく黒川まで鯉釣りに出掛ける」ということです。そのほか、農業も好きで、「趣味程度ですが、20年ほど前から畑を借りて、ネギや大根など季節の野菜を育てている」ということです。また、セエさんはお裁縫が好きで、余った布などを利用して、枕のカバーや半てん、着物などをよく作るそうです。

家族でよく温泉旅行や食事などに出掛けるというお二人、「私たちと子どもたち夫婦、そして孫3人の家族7人で、毎日をにぎやかに楽しく過ごしています」と幸せそうに話す笑顔がとても印象的でした。

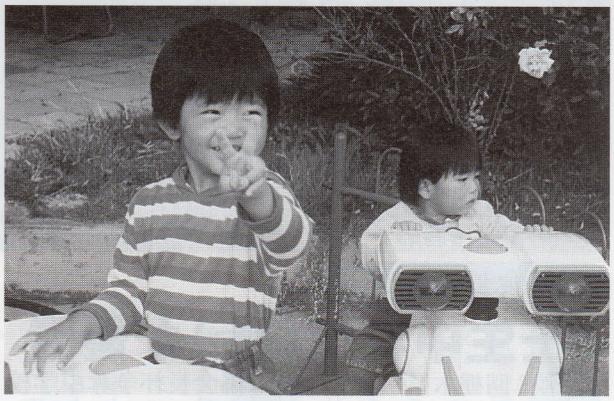
チビッ子アルバム

裕介（ゆうすけ）ちゃん（5歳・右）・英里（えり）ちゃん（2歳・左）

（父）森田　栄　さん
（母）〃　百合子さん　（駅東）

お母さんから一言

明るく　思いやりのある子になってね。



慶城（よしき）ちゃん（4歳・左）・亮佑（りょうすけ）ちゃん（1歳・右）

（父）林　成　行さん
（母）〃　かおりさん　（六美町北部）

お母さんから一言

元気に　大きくなってネ。

「チビッ子アルバム」に出てくれるお子さんを募集しています。ご希望の方は、写真に簡単なメッセージを添えて町企画財政課広報広聴係（☎82－１２３４　内線212）までお送りください。

おもちゃ博物館

おもちゃの切手デザイン画を展示

南犬飼中学校生徒が描いたおもちゃの切手デザイン画60点が、昨年12月から２月まで町おもちゃ博物館展示ギャラリーに飾られ、カラフルに描かれたデザイン画に、立ち止まって見入る来館者の姿が目立ちました。

祭りに華を添える

２月25日に行われた上稲葉の梅林天満宮例大祭に稲葉小学校の児童１９５名の書き初めの作品が展示され、祭りに華を添えました。

なお、同神社は、学問の神様として知られる菅原道真を祭っており、２月25日の例大祭には、毎年児童の書道作品が飾られています。

真剣なまなざしでゲームに没頭

大会のようす

壬生町教育委員会と町子供会育成会連絡協議会（栗原浩会長）共催の第８回壬生町カルタとり大会が２月４日、壬生中央公民館で開かれ、町内８小学校から１３４名の児童が参加しました。

大会は、低・中・高学年の３部門に分かれての個人戦と、個人戦予選最高得点者を各学校の代表にして合計枚数を競う学校対抗戦が行われ、子どもたちは真剣なまなざしで日本古来のゲームに没頭していました。

成績は下表のとおりです。

	個人			団体
	低学年（１～２年生）	中学年（３～４年生）	高学年（５～６年生）	
優勝	田中友康（東小２年）	安納淑恵（壬小４年）	栗原雅実（東小５年）	藤井小学校
準優勝	神永淳美（稲小２年）	落合可織（羽小４年）	渡辺寛明（稲小６年）	壬生小学校
三位	瀬戸裕二（睦小２年）	小川有紀（北小４年）	大橋義正（稲小６年）	羽生田小学校
最高得点（枚数）獲得者（予選決勝戦を通して）	田中友康（東小２年）（17枚）	小川 彩（北小４年）（14枚）	田村絵美（壬小６年）（11枚）	

90名の剣士が腕を競う

第10回町民剣道大会が２月25日、町総合運動場武道館で行われ、町内の少年・少女剣士および剣道愛好家90名が参加、個人戦６部門に分かれて剣の腕を競いました。

大会の結果は次のとおりです。

【小学１～２年の部】
優勝　高久　裕紀（壬生剣教）
【小学３～４年の部】
優勝　福田　建太（壬生剣教）
【小学５～６年の部】
優勝　二ノ宮雅宏（壬生剣教）
【中学生男子の部】
優勝　吉原　慎吾（おもちゃ剣教）
【中学生女子の部】
優勝　石村　美幸（南犬中）
【一般の部】
優勝　荒川　彰二（稲葉下馬木）

各部門優勝の皆さん

優勝の壬生中バレーボール部

県協会長杯バレー

壬生中学校（男子）が優勝

第８回栃木県バレーボール協会長杯争奪中学校バレーボール大会が１月28日、２月４日の両日、宇都宮市体育館などで行われました。

町内からは壬生中学校バレーボール部が男子の部で出場、１、２回戦、準決勝と順調に勝ち進み、決勝では栃木東中学校と対戦、１セット15－７、２セット15－13とストレートで破り、見事優勝の栄冠を手にしました。

本町出身の装幀家・エッセイスト・流木造形家

荒川じんぺいさんから母校へ著書が贈られる

本町（本丸）出身で、装幀家、エッセイスト、流木造形家として活躍されている荒川じんぺいさん（東京都在住）より2月9日、母校の壬生中学校に自作の著書が寄贈されました。

荒川さんは、昭和21年に壬生町本丸に生まれ、昭和36年に壬生中学校を卒業後上京、書籍関係の仕事を経て現在は、装幀家、エッセイスト、流木造形家として、また平成6年10月からは県より委嘱を受けて"とちぎマロニエ特使"としても活躍されています。

荒川さんからのメッセージ

荒川じんぺいさん

僕は、壬生中学校を昭和35年度に卒業しました。僕の学んだ中学校は、統合される以前の学校で、現在の中央公民館がある場所にあったころです。僕は、新生壬生中学校の校門をくぐったこともありません。卒業生というだけで、拙書を母校に送るのは僭越なのではと、少し躊躇しました。

しかし、僕の最終学歴は壬生中学校卒業生なのです。稲葉中学とは、剣道部の練習試合で随分と交流したものです。稲葉中学校へは、何度も行きました。壬生、稲葉両地区の統合された新生壬生中学校といえども、僕の母校です。先輩の資格はあるでしょう。

このたび僕は、岩波書店より『森に住んだ観音さま』を上梓しましたが、この機会にこれまで出版した拙書のエッセイの数々を、母校の後輩たちに読んでいただきたいと思ったのです。

おそらく校舎の屋上から壬生寺の杉の樹木が望見できるでしょう。僕は、その近くで生まれました。15歳で壬生町を後にして35年が過ぎましたが、幾つになっても少年期を過ごした、ふるさと壬生が思い出されます。現在の中学校がある北側の河原や南側の田園の畦道や土手で、よく遊んだものです。

春、セリやノビルやヨモギを摘んだのは、学校の南側の土手であり、夏の水遊びに興じた河原は裏を流れる黒川です。バイパスができ、住宅が増え35年前とは違った景色になっていますが、壬生中学校のある周辺は、僕にとって原風景そのままなのです。

土手から眺めた葛生方向の山並みと男体山は、今も変わらず望めるでしょう。どの木にも、僕を育てはぐくんでくれた壬生の土地が随所に出て来ます。拙書の風景描写から読み取り、当時の僕を想像してみるのも一考かと思われます。あるいは笑えるかも知れません。ぜひ、学業の合間にお読みください。

中学生の君たちは、自分の将来にさまざまな夢を描いていることでしょう。夢は大きく大きく描いてください。夢を描き思い続ければ、必ず実現するものです。たとえ回り道しようとも、早いか遅いかの違いです。しかし、心に原風景を持っているかで夢の豊かさが違って来ます。今まさに少年期を過ごしている諸君たちにも、この壬生の景色を脳裏に深く刻み付けておいて欲しいのです。風景だけではありません。草木や野鳥や昆虫にいたるまで観察し、壬生の生物までも思い出としてください。そして、壬生町だけでなく、さらに自分たちが住む緑の星・地球に思いを巡らしてください。大人になったとき、体に染み付いた原風景を持っていることのありがたさを、実感することが必ずやって来ます。

拙書が、君たちの夢の創造の一助になればと願っております。

昭和35年度卒業生　荒川じんぺい

訂正

2月号12ページ、「くらしの相談員へ」の記事中、相談員さん名簿の粕尾幸江さんの住所は「本丸2―2―12」の誤りですので、お詫びして訂正いたします。

寄付

（社会福祉協議会）

（○数字は寄付回数）

金4千750円①　深津　マス様
田村　ムメ様

金5千円⑤　中川　淳様

53名の少年・少女棋士が腕を競う

町文化協会将棋部（杉山保司部長）主催の第3回栃木県小中学生将棋大会が1月28日、壬生中央公民館で行われました。

大会の結果は次のとおりです。

【小学校低学年の部】
優　勝　増渕　良紀（宇都宮市）
準優勝　君島　拓己（宇都宮市）
三　位　絵面　暢利（小山市）
〃　大寺　徳幸（西那須野町）

【小学校高学年の部】
優　勝　長岡　智英（宇都宮市）
準優勝　寺内　英憲（安塚小6年）
三　位　斎須　結太（安塚小6年）

【中学生及び小学生有段者の部】
優　勝　深谷　知輝（宇都宮市）
準優勝　君島　俊介（宇都宮市）

文芸

文化協会文芸部選

短歌

キズありは承知のメロン半値にて購いたるがことのほか甘し　野口　富代

お茶箱に眠りていたるセーターが友に言われて日の目を見たり　神林　文恵

真夜中に犬が突然吠えだせしに何事ならんと様子うかがう　佐藤　キミ

かけている眼鏡を捜し気がつけば何をするかも忘れて真白　小原　千明

俳句

一の沢二の沢どの沢も春の水　宇井　秋汀

診察の医師の背にある冬の空　鈴木　文二

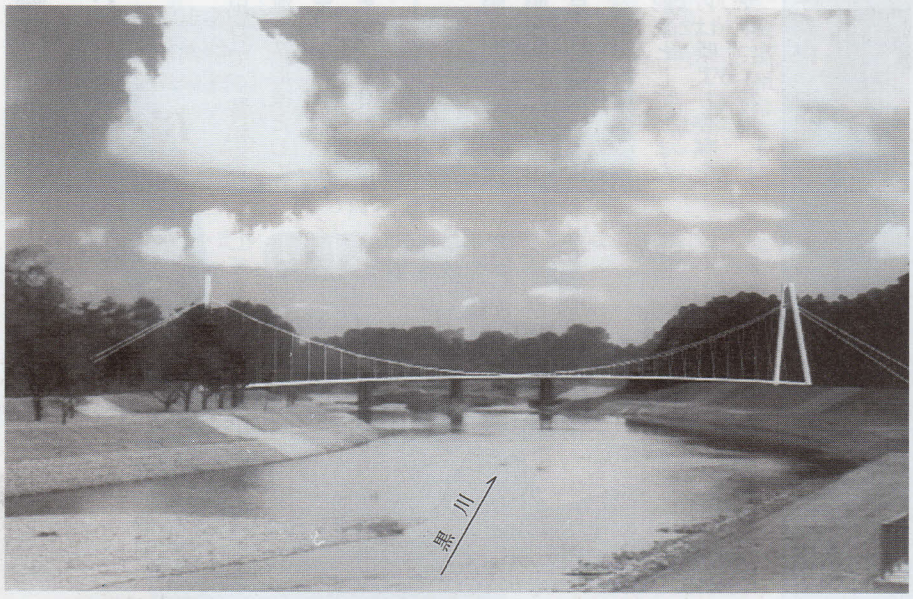
終電へ急ぐ靴おと冴えかえる　鈴木佳世子

豆まきに鬼はどこやと孫の顔　深津　ハナ

（仮　称）

人道橋の愛称を募集します

（完　成　予　想　図）



栃木県では、現在、渡良瀬遊水地壬生自転車道の整備を進めております。その一環として、黒川に人道橋（つり橋形式）を架橋することになりました。

旧壬生地内と東雲公園を結ぶ「かけ橋」にふさわしい愛称を次のとおり募集いたします。

◇応募資格　どなたでも応募できます
◇応募点数　一人何点でも可
◇応募方法　官製ハガキに愛称、住所、氏名を明記して下記まで応募してください。
◇締　　切　4月30日(当日消印有効)
◇表　　彰　後日入選者に通知いたします。
◇応募及び問合せ先
〒321-02 壬生町通町12番22号
壬生町役場建設部建設課
☎82－１２３４

ハンドベルに挑戦する参加者の皆さん

音楽リハビリに参加しませんか！

町では、保健福祉センターで毎月１回、機能訓練の一環として脳卒中後遺症の方や音楽リハビリに関心をお持ちの方を対象に、リズムに合わせて指の体操や季節の歌を歌ったりする音楽リハビリを実施しています。

この日は、参加者のみなさんが歌や、ハンドベルを使って「春の小川」を演奏して楽しいひとときを過ごしていました。

当教室では、いっしょに参加してくれる方を募集しています。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

◇訓練日時　毎月第１火曜日　午前10時～
◇会　　場　保健福祉センター
◇申込み・問合せ先　町民生部保健課健康増進係☎82-1234内線110

まちのうごき

3月1日現在

総人口	39,916人	（　2）
男	19,648人	（△1）
女	20,268人	（　3）
世帯数	12,305世帯	（　10）

（　）内は前月比

4月の納税等

●国民年金（全期前納）（4～9月分前納）（4月分）

納期限間際は、納付窓口が大変込み合います。早めに納付しましょう。（納期限4月30日）

国民年金保険料の納付は

便利な口座振替で！

平成８年度から半年分前納方式が新たに加わります。

口座振替制度を利用すれば、毎月納める手間が省けるほか、納め忘れもなく安心です。

◎口座振替納付方法

○全期前納‥‥１年分を４月27日に振替納付
○半年前納‥‥４月～９月分を４月27日に振替納付
　　10月～３月分を10月27日に振替納付
○期別納付‥‥毎月27日に振替納付
※当日が休日の場合は、翌営業日に振替納付になります

◆前納した場合の割引額（平成８年度）

保険料月額	１２,３００円
全期前納割引額（年額）	３,５６０円
半年前納割引額（年額）	１,６４０円

◎申込み手続きは

町内の金融機関（郵便局は除く）で、預金通帳・通帳印・年金手帳をお持ちのうえ、お申し込みください。

なお、口座振替登録済みの方が、納付方法を変更される場合も金融機関に変更の申し込みをしてください。

※口座振替の開始・変更は、依頼書を提出した翌月の納期からになります。

全期前納・半年前納の申し込みが年度途中の場合は、全期前納は翌年度から、半年前納は振替月到来からとなります。

◎問合せ先　町民生部住民課国民年金係
☎82－１２３４ 内線119